

2008年3月期 第3四半期連結業績説明会

代表取締役社長 鈴木 幸一
取締役CFO 渡井 昭久

株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード：3774）

2008.2.12

<http://www.iij.ad.jp/IR/>

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) あらゆる事象を要因とするサービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下、
- 3) 役務提供に必要なバックボーン回線、外注費等の調達要領及びコストの変化、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 業績の四半期毎の季節変動の増大、
- 6) 保有株式の時価の変動による経営成績及び財務状況への影響、

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Seurities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

● 営業収益・営業利益の継続拡大

《 第3四半期(2007/4~12) 》

・ 営業収益(売上高)	483.5 億円	(前年同期比	20.8 %増)
・ 営業利益	29.5 億円	(前年同期比	25.3 %増)
・ 営業利益率	6.1 %	(前年同期比	0.2 ポイント増)

- サービス契約累積による恒常売上(インターネット接続・VAS、システム運用・保守)継続拡大、クロスセリングによるサービス積上げ戦略が順調に進展
- 大型SI案件検収、さらなるシステム運用保守拡大へ

● 新サービス開発による法人ソリューション強化

- ドコモ、イー・モバイルとのMVNOによる無線ソリューション「IIJモバイルサービス」開始
- SMF管理のファイアウォール「IIJ SMF ウルトラファイアウォールオプション」開始

● 更なる中長期成長を展望した新規事業への取組み

- 次世代インターネットに向けての新技术開発・事業化のインキュベーション事業立ち上げ
- TVポータル「アクトビラ」へのコンテンツ配信プラットフォーム提供開始
- GDX Japan(株)設立によるメッセージ交換ネットワークサービス開発、推進
- (株)トラストネットワークス設立によるATMネットワーク運営事業の企画準備開始

2008年3月期 第3四半期実績(9ヶ月累計)



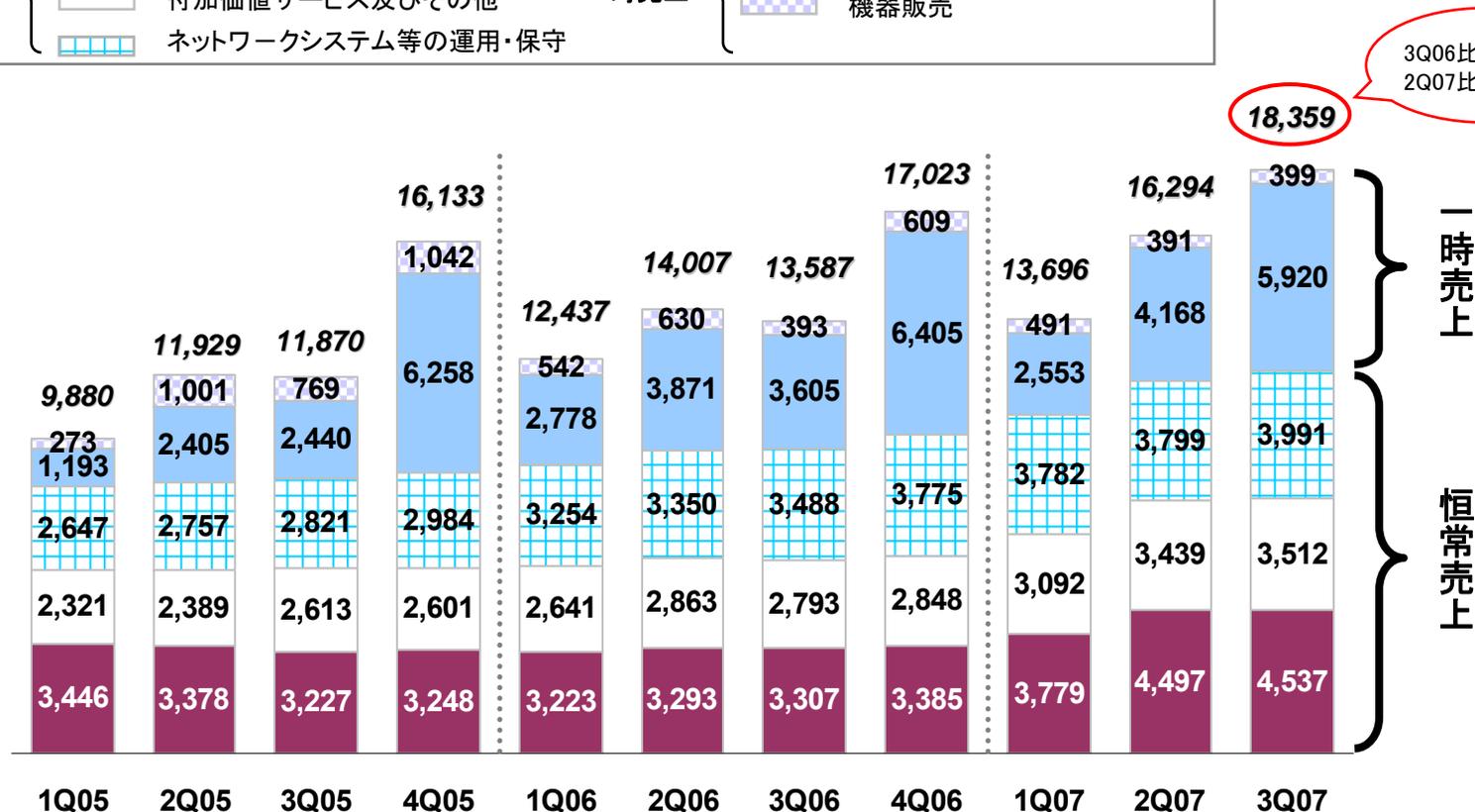
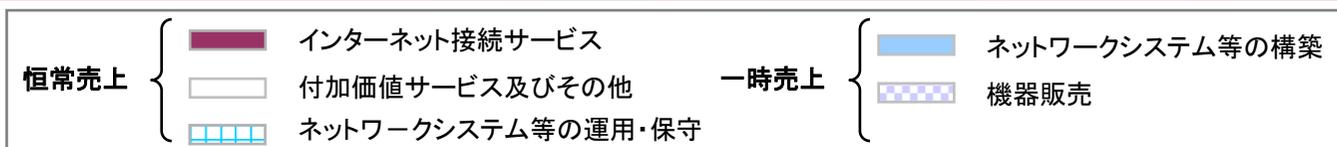
Internet Initiative Japan

単位: 億円

	売上比 3Q07累計 (2007/4~12)	売上比 3Q06累計 (2006/4~12)	前年同期比	2008年3月期 予想数値
				通期
営業収益 (売上高)	483.5	400.3	20.8%	690
売上原価	80.0% 386.6	80.7% 323.1	19.7%	—
売上総利益	20.0% 96.9	19.3% 77.2	25.5%	—
販売管理費等	13.9% 67.4	13.4% 53.7	25.5%	—
営業利益	6.1% 29.5	5.9% 23.6	25.3%	6.7% 46
税引前当期利益	5.6% 27.1	9.4% 37.5	△27.6%	7.4% 51
当期純利益	8.5% 40.9	10.6% 42.6	△4.0%	8.1% 56

営業収益(売上高)の推移

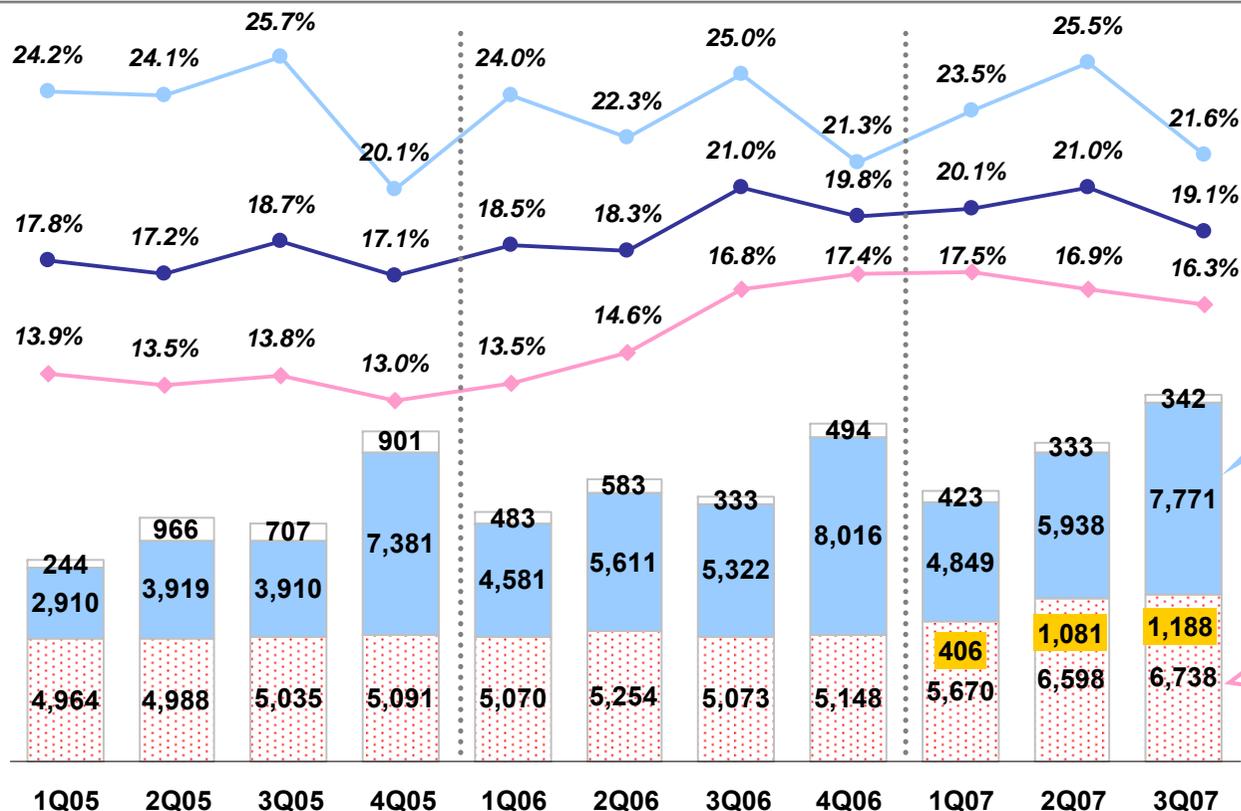
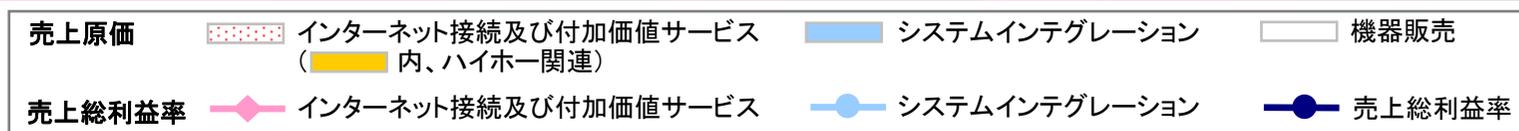
単位: 百万円



- ◆ 過去最高の営業収益(売上高)。3Q07(累計)で48,349百万円、3Q06(累計)比20.8%増。
- ◆ 恒常売上の拡大継続。累積3Q07(累計)で34,428百万円、同22.0%増。
 - ▶ インターネット接続サービス: 3Q06(累計)比30.4%増(20.8%増のうち7.5%分)、2Q07比0.9%増、3Q06比37.2%増。
 - ▶ 付加価値サービス及びその他: 3Q06(累計)比21.0%増(20.8%増のうち4.3%分)、2Q07比2.1%増、3Q06比25.8%増。
 - ▶ ネットワークシステム等の運用・保守: 3Q06(累計)比14.7%増(20.8%増のうち3.7%分)、2Q07比5.0%増、3Q06比14.4%増。
- ◆ SI構築の大幅増加。3Q07に大口案件の検収あり、3Q07(累積)で12,641百万円、同23.3%増。
 - ▶ 3Q06(累計)比23.3%増(20.8%増のうち6.0%分)、2Q07比42.0%増、3Q06比64.2%増。

売上原価・売上総利益率の推移

単位：百万円

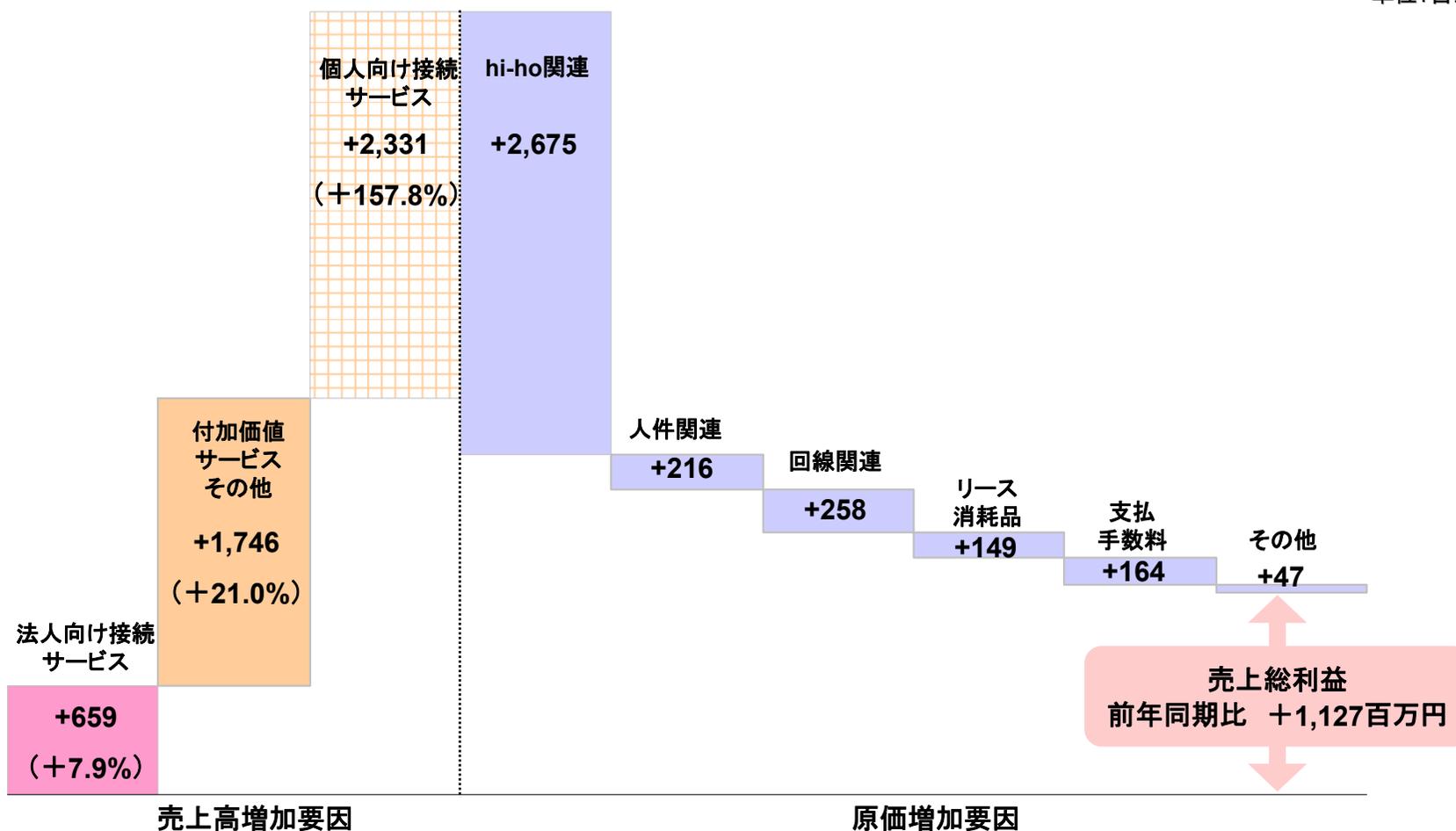


システムインテグレーション
人件関連費、外注費、仕入等

インターネット接続及び付加価値サービス
バックボーン等の回線、ネットワーク関連機器、ネットワーク運営費、人件関連費等

- ◆インターネット接続及び付加価値サービス原価：3Q07(累計)で19,005百万円、3Q06(累計)比23.4%増。
 - ▶ハイホー関連2,675百万円(7ヶ月間)、新規事業関連先行費用62百万円、回線関連3Q06(累計)比258百万円増、人件関連3Q06(累計)比216百万円増。
 - ▶3Q07(3ヶ月)のハイホー売上総利益率は、キャンペーンによる一時的通信費用先行支出等があり、2Q07比低下(2Q07:17.7%→3Q07:12.0%)。
- ◆システムインテグレーション原価：3Q07(累計)で18,558百万円、3Q06(累計)比19.6%増。
 - ▶3Q07(3ヶ月)のSI売上総利益率は、構築売上増加影響により21.6%に低下。

インターネット接続及び付加価値サービス 売上総利益増加(3Q07累計前年比)の概要

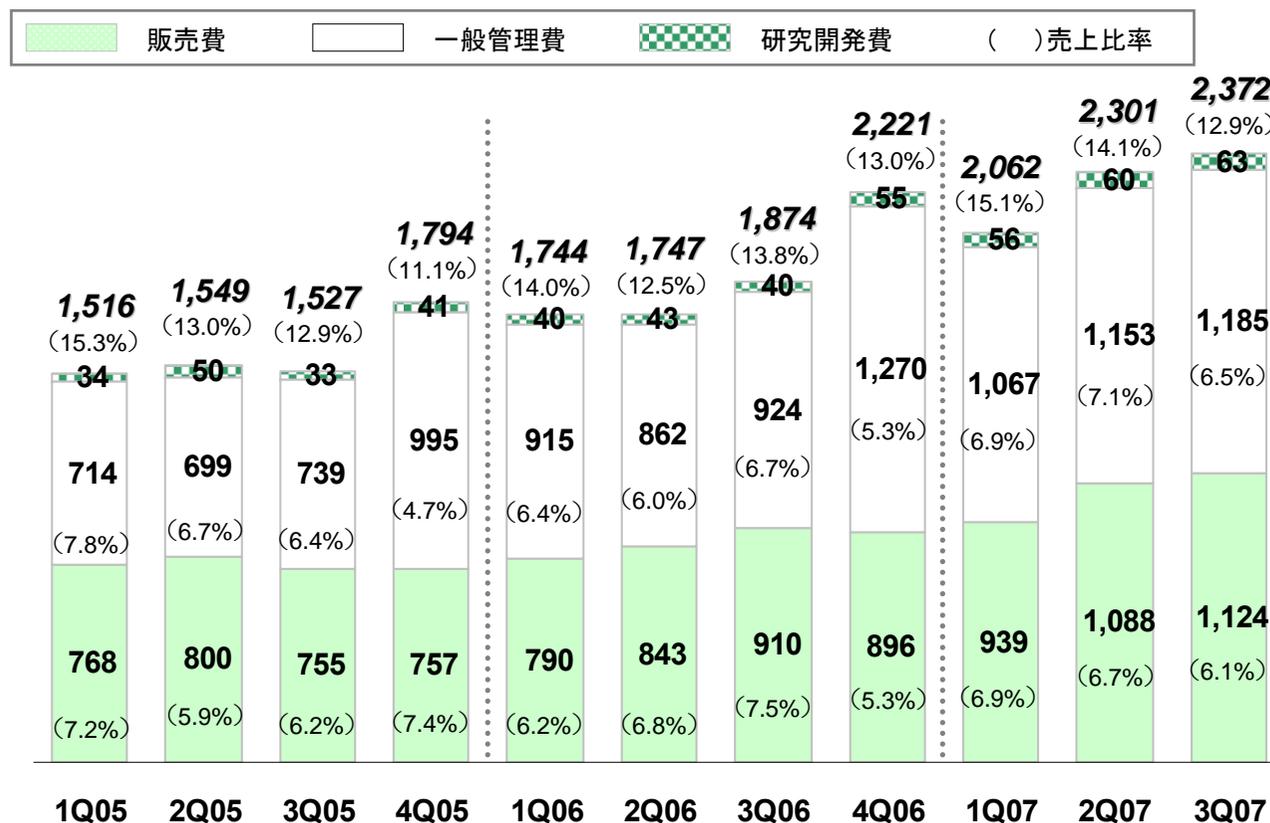


<3Q07累計前年比の金額差分>

<インターネット接続及び付加価値サービス>

◆売上総利益	: 3Q06(累計) 2,723百万円	⇒ 3Q07(累計) 3,850百万円	(+1,127百万円、+41.4%)
◆売上総利益率	: 3Q06(累計) 15.0%	⇒ 3Q07(累計) 16.8%	(+1.8ポイント)

販売管理費の推移



◆販売費: 3Q07(3ヶ月)売上比率は6.1%(2Q07比0.6%減、3Q06比1.4%減)。

▶ハイホーにおける支払手数料等販売費288百万円(7ヶ月間)、人件関連・広告宣伝費の増加等にて、3Q07(累計)で3,152百万円、3Q06(累計)比23.9%増。

◆一般管理費: 3Q07(3ヶ月)売上比率は6.5%(2Q07比0.6%減、3Q06比0.2%減)。

▶事業規模拡大に伴うオフィス増床等の地代家賃や人件関連費用等の増加、新規事業関連の先行的費用109百万円等があり、3Q07(累計)で3,405百万円、3Q06(累計)比26.1%増。

◆研究開発費

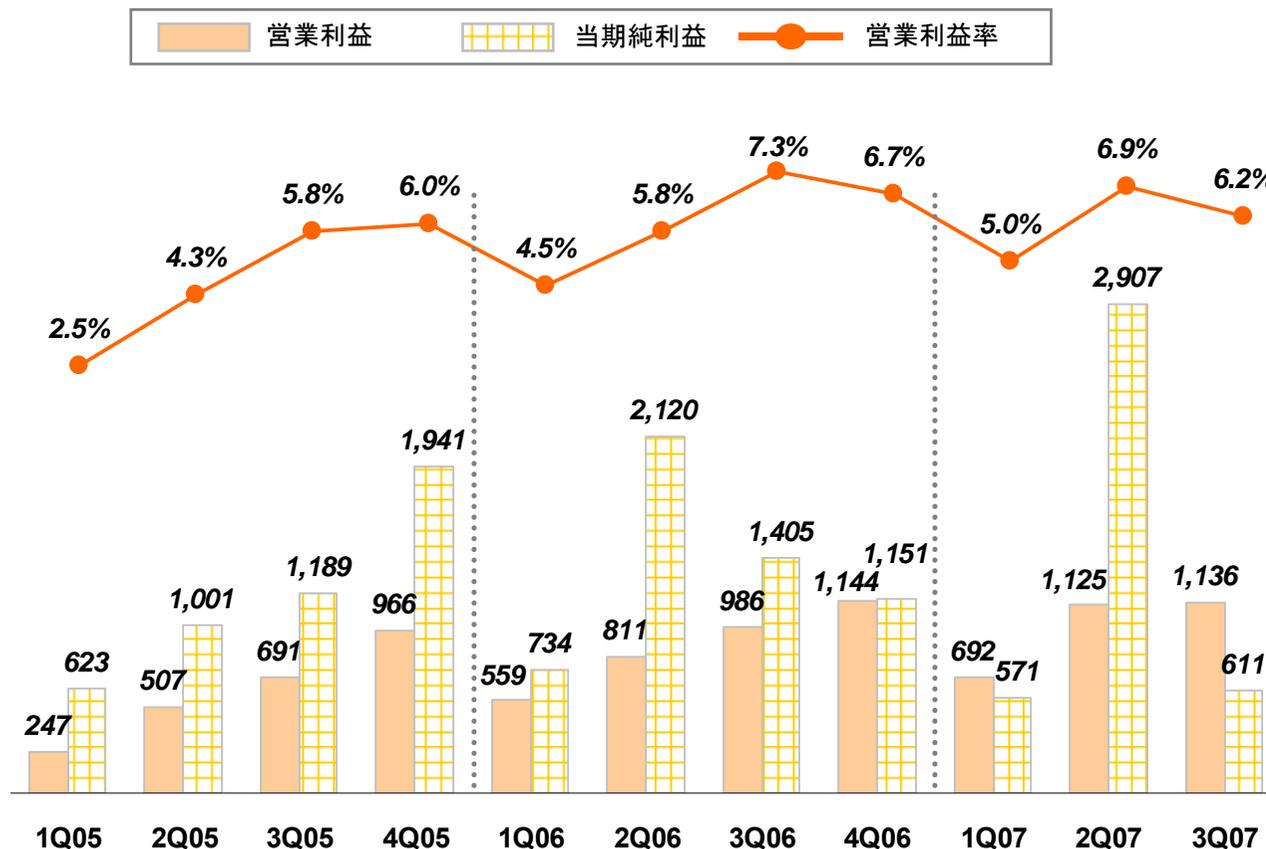
▶保守的に、ほぼ研究従事分人件費のみを費用計上。開発費用等は原価にて処理。

◆販売管理費: 3Q07(3ヶ月)売上比率は12.9%(2Q07比1.2%減、3Q06比0.9%減)。

▶3Q07(累計)で6,736百万円、3Q06(累計)比25.5%増。

営業利益・当期純利益の推移

単位：百万円



◆営業利益：3Q07(累計)で2,952百万円、3Q06(累計)比25.3%増。

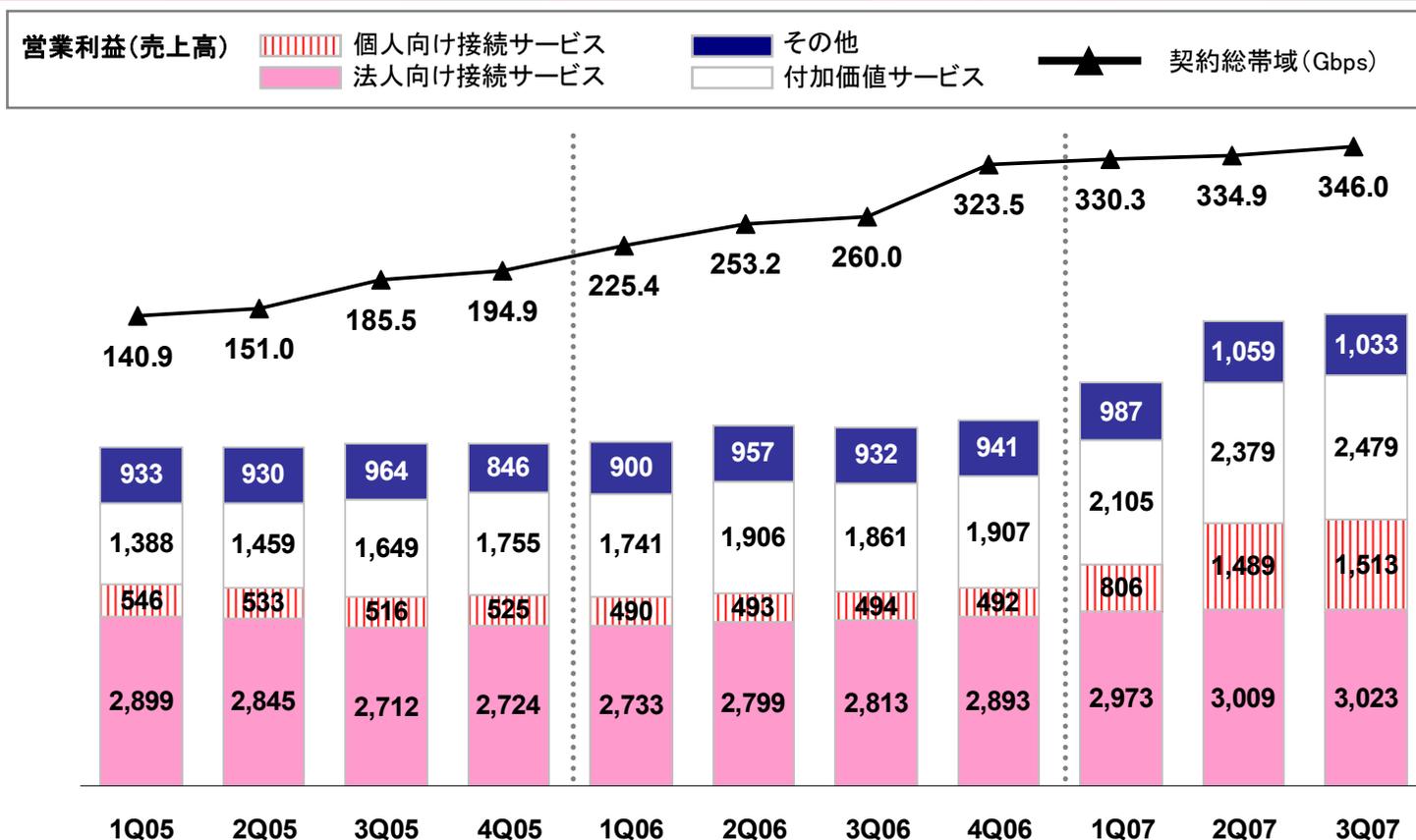
- ▶3Q07(3ヶ月)営業利益は、売上総利益増加にて2Q07比+11百万円。
- ▶3Q07(3ヶ月)営業利益率は、売上総利益率低下にて6.2%(2Q07比0.7%減)。

◆当期純利益：3Q07(累計)で4,088百万円、3Q06(累計)比4.0%減。

- ▶その他の収益(費用)：3Q07(累計)投資有価証券売却益が218百万円と3Q06(累計)1,680百万円より減少し237百万円の費用。
- ▶法人所得税：税効果会計による1,791百万円の法人税等調整額(益)計上にて1,413百万円の利益。
- ▶少数株主損益：GDx Japan等の少数株主利益にて52百万円の利益。
- ▶持分法による投資損益：インターネットレポリューション等の持分法投資損失にて92百万円の損失。

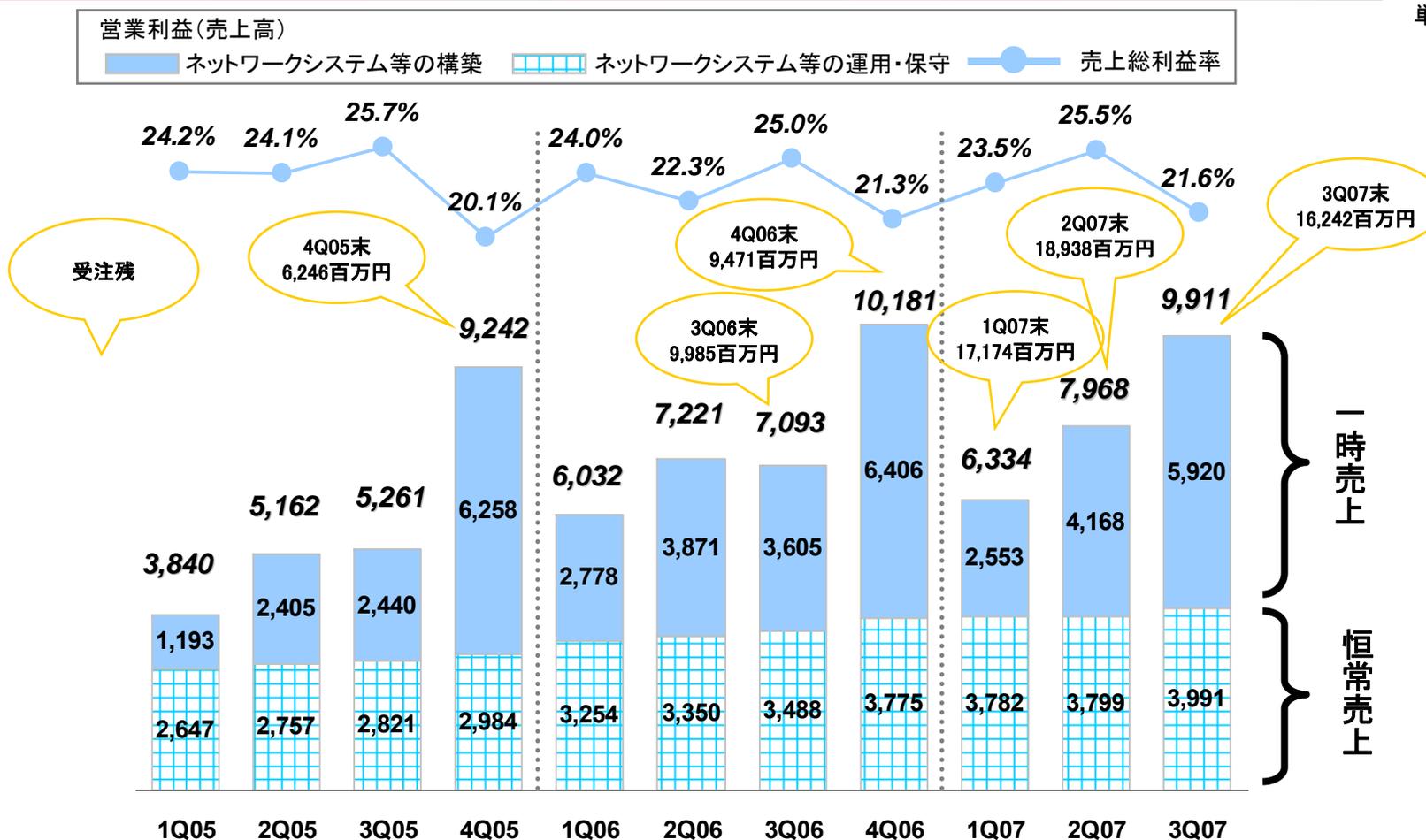
	1Q07	2Q07	3Q07	3Q07(累計)
投資有価証券売却益	214	0	4	218
法人所得税	175	▲1,980	392	▲1,413
少数株主損益	9	15	27	52
持分法損益	▲20	▲29	▲42	▲92

各サービスの概況 ～インターネット接続及び付加価値サービス～



- ◆法人向け接続サービス: 広帯域化・契約数拡大により、売上高は3Q07(累計)で9,005百万円、3Q06(累計)比7.9%増。
 - IPサービス: 3Q07(累計)で6,682百万円、3Q06(累計)比6.9%増(7.9%増のうち5.1%分)。3Q07末契約数 1,350契約(3Q06末比+119契約)。
 - ブロードバンドサービス: 3Q07(累計)で1,959百万円、3Q06(累計)比22.8%増(7.9%増のうち4.4%分)。3Q07末契約数 21,573契約(3Q06末比+6,194契約)。
 - その他接続サービス: 3Q07(累計)で363百万円、3Q06(累計)比26.9%減(7.9%増のうち▲1.6%)。
- ◆個人向け接続サービス: 売上高は3Q07(累計)で3,808百万円、3Q06(累計)比157.8%増。
 - (株)ハイホーによる売上2,537百万円(7ヶ月間、3Q07末時点で190,808契約)が寄与。
- ◆付加価値サービス: 売上高は3Q07(累計)で6,964百万円、3Q06(累計)比26.4%増。
 - 迷惑メール対策サービスや多拠点インターネットVPN、データセンターサービス等の増加基調が継続。

各サービスの概況 ～システムインテグレーション(SI)～



- ◆ネットワークシステム等の構築: 3Q07(累計)の売上高12,641百万円、3Q06(累計)比23.3%増。
 - 3Q07(3ヶ月)にて大口のネットワーク構築及びアプリケーション開発案件を検収。
 - 3Q07末時点における構築の受注残は、3Q06末比42.8%増の74.1億円。
- ◆ネットワークシステム等の運用: 3Q07(累計)の売上高は11,572百万円、3Q06(累計)比14.7%増。
 - 3Q07末時点における運用・保守の受注残は、3Q06末比84.1%増の88.3億円。
- ◆3Q07(3ヶ月)売上総利益: 21.6% (2Q07比3.9%減、3Q06比3.4%減)
 - 3Q07は、大口構築案件検収に伴い売上総利益率は相対的に低下。今後の運用保守売上増加寄与を展望。

中長期成長を見据えた新規事業への取組み

IIJモバイル

IIJ事業

- ・高速モバイルインターネット接続サービスの提供
- ・モバイル回線とIIJのネットワーク構築ノウハウを用いた企業向けモバイルソリューションを実現
- ・短期的にも事業収支確立を展望

詳細:P12参照



IIJ事業

- ・アクトビラへのコンテンツ配信プラットフォームの提供
- ・IIJの高いコンテンツ配信技術や運用ノウハウを活かし、ブロードバンド回線による高画質コンテンツ配信を実現
- ・アクトビラ対応テレビ普及に伴い中長期的事業成長を展望

IIJ
Innovation
Institute

連結子会社設立 (予定)

- ・日本発の“次世代インターネットの新しい基盤技術”を創出するためのインキュベーション事業
- ・最先端の技術者を公募の上、次世代ネットワーク環境を創り出す事業化・サービス化を中長期的に推進

2月: 第一次応募締切
4月: 選定。



51%連結子会社

- ・FY07年4月設立
- ・企業専用のメッセージングプラットフォームサービス「GDX Trusted Platform」の提供
- ・メール配送経路をGDX Trusted Platformへ変更することで、既存のメールシステムでは実現できないメール等の追跡/開封確認等の機能を提供



60.2%連結子会社

- ・FY07年7月設立
- ・ATMネットワーク運営会社
- ・事業立上げ準備、企画中

3Q07(累計)における先行的費用にて、171百万円の利益マイナス要因

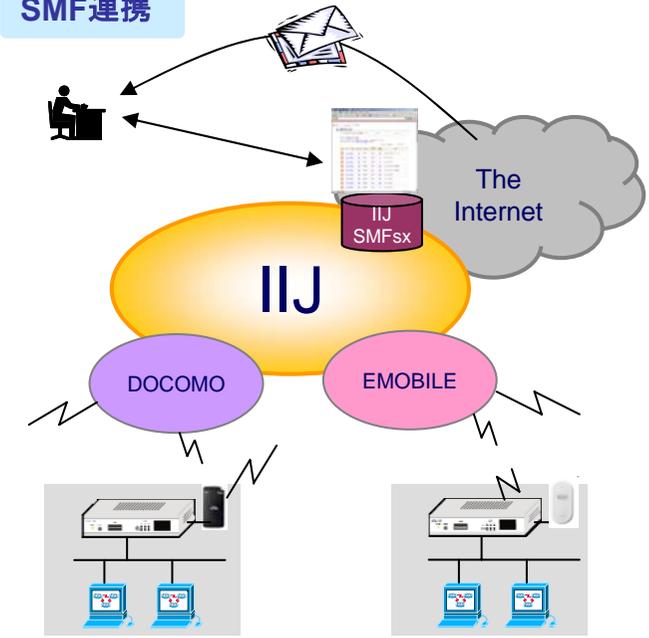
■ MVNOによる企業向けモバイルインターネット接続サービスを展開 トータル・ネットワーク・ソリューションによるクロスセリングを推進

- NTTドコモ/イー・モバイルと連携し、MVNOとして提供
- 既存6,500社の法人接続顧客ベースに展開
- 法人向け高速接続(3G/HSDPA網)
- セキュリティソリューション等既存サービスと組み合わせた展開
 - 接続元・接続先限定オプション、VPNオプションと組み合わせることで容易に高いセキュリティを確保
 - IIJバックボーンに閉じた閉域ネットワーク接続、等。
- 多様な料金プラン/デュアルキャリア対応
- プロトコルフリー(ftp、VoIP等)
- 対応端末:A2502 HIGH-SPEED(ドコモ)、D02NE、D02HW、D01NX(イー・モバイル)
- 獲得目標: 当初100,000ユーザ ターゲット

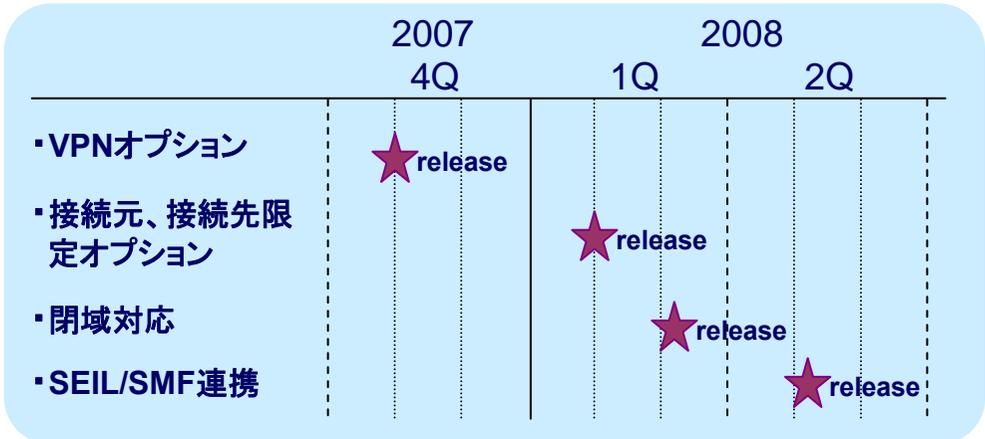
対応端末



SMF連携



SMFにて繋がなくても繋がる究極の自動接続「完全管理」の実現



連結バランスシートの状況



Internet Initiative Japan

単位：百万円

	2007年12月末	2007年3月末	前期末比
現金及び預金	9,214	13,555	△ 4,340
売掛金	11,801	9,676	+2,125
たな卸資産	1,028	1,111	△ 84
前払費用	2,234	1,053	+1,181
売却可能有価証券	967	1,310	△ 342
有形固定資産	11,111	9,832	+1,279
無形固定資産	5,925	2,877	+3,048
その他資産	3,999	3,260	+739
銀行借入(短期)	9,650	6,340	+3,310
欠損金	△ 20,644	△ 24,271	+3,627
その他包括利益累計額	339	950	△ 611
資本合計	24,140	20,112	+4,028
総資産	52,997	47,693	+5,304

大口SI案件に関連する売掛金3,045百万円の計上等により増加

賞与及びSI案件に伴う保守料等の増加

ハイホー子会社化に伴う増加及び自社設備等の増加

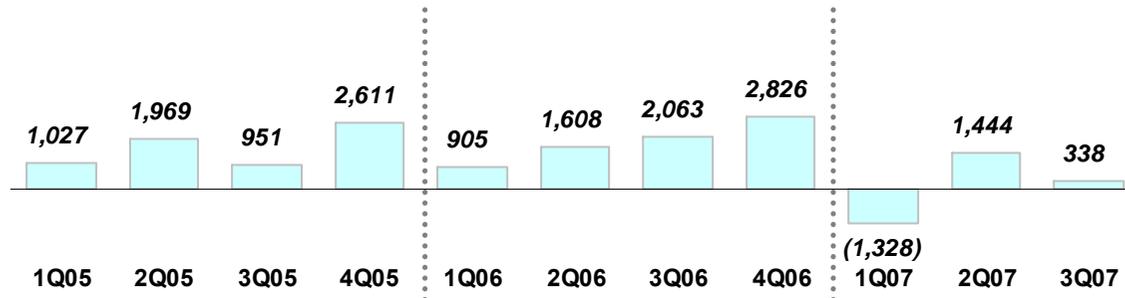
子会社株式の追加取得及びハイホーの株式譲受による営業権等の計上

子会社株式取得のための新規借入により増加

連結キャッシュ・フロー

単位：百万円

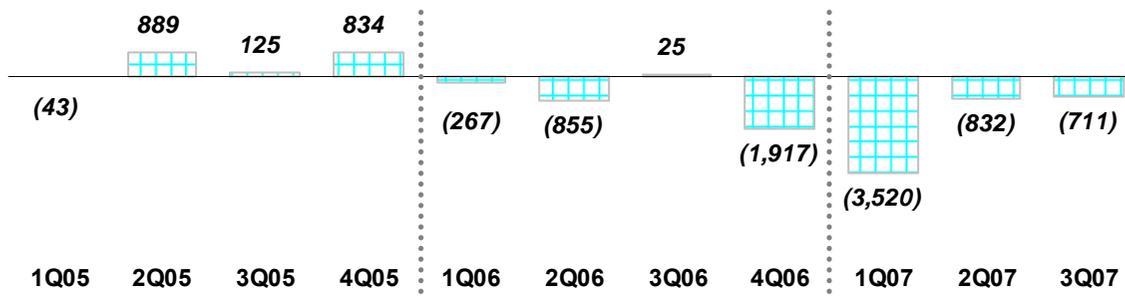
営業キャッシュ・フロー



3Q07(累計)の営業CFは、455百万円の収入

- ▶ 売上総利益の増加に伴う営業利益の増加
- ▶ 3Q07(3ヶ月)に検収した大口SI案件に関連する売掛金の増加
- ▶ 前払費用等への支出
- ▶ 未払金の支出、等

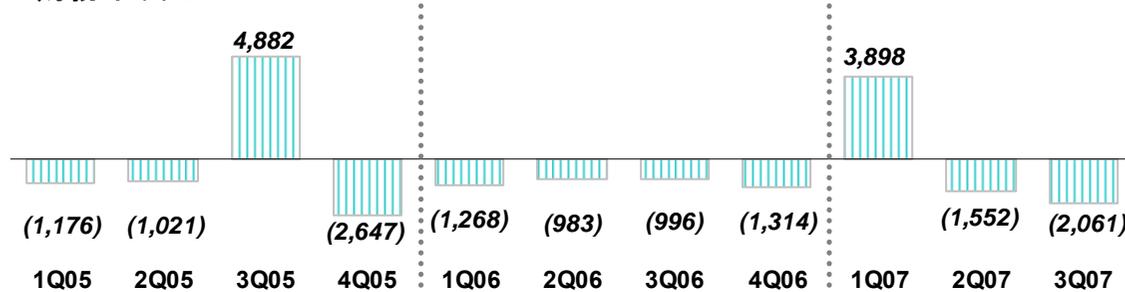
投資キャッシュ・フロー



3Q07(累計)の投資CFは、5,063百万円の支出

- ▶ 子会社株式の取得による支出(1,975百万円)
- ▶ 有形固定資産の取得による支出(1,615百万円)
- ▶ ハイホーの株式取得による支出(912百万円)
- ▶ 新たに連結対象となったトラストネットワークスから受け入れた現金及び預金(124百万円)

財務キャッシュ・フロー

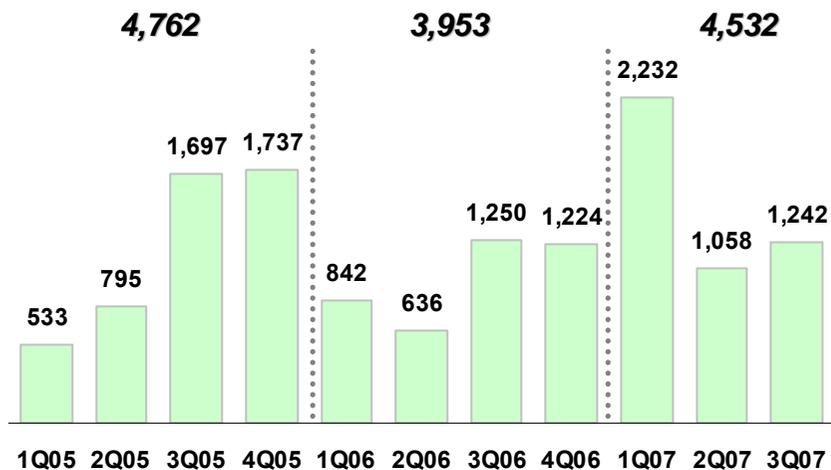


3Q07(累計)の財務CFは、285百万円の収入

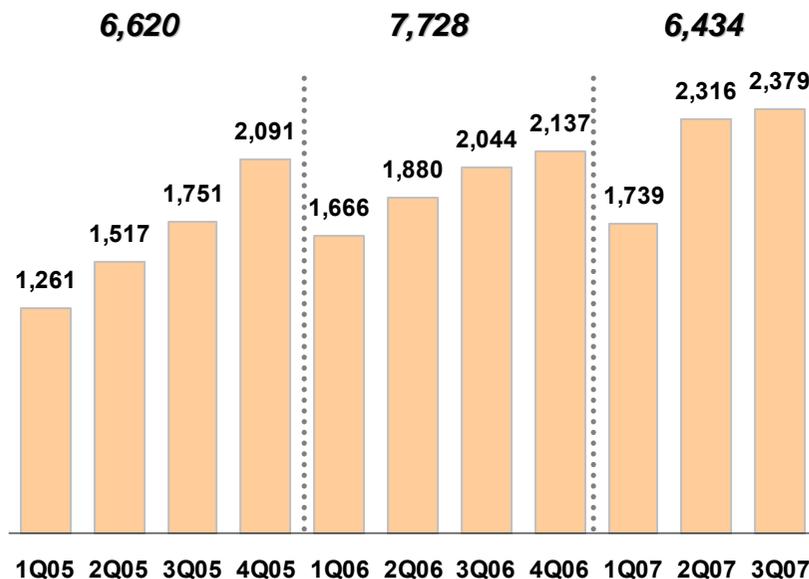
- ▶ 連結子会社2社の株式取得のための短期借入増加
- ▶ 銀行借入の一部返済
- ▶ キャピタルリース債務の元本返済(2,564百万円)
- ▶ 配当金の支払い(461百万円)

CAPEX・減価償却・ Adjusted EBITDA

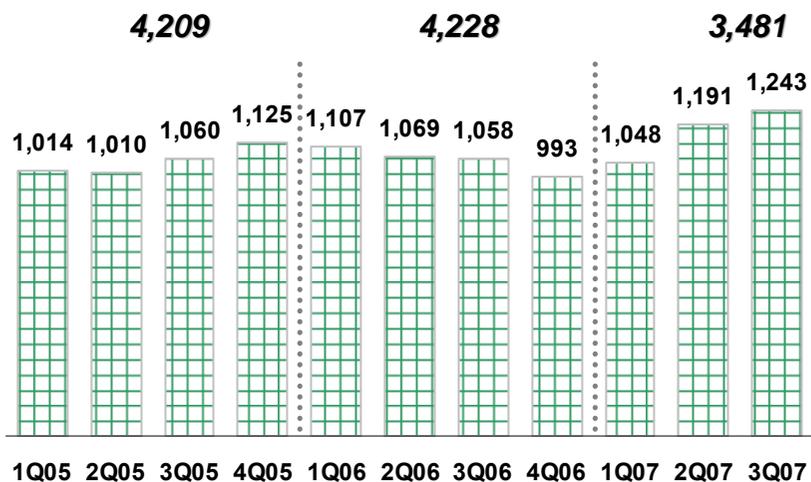
CAPEX



Adjusted EBITDA



減価償却



主要なプレスリリース一覧

リリース日	内容
10/1	IIJ、「SEIL/Xシリーズ」を新たに開発
10/2	「マルチフィードJPNAP東京IIサービス」の提供開始について
10/12	新技術「エリアキャスト」で、アニメをテレビ放送地域外限定ネット配信
10/29	IIJ、情報セキュリティ技術に係る特許の専用実施権を取得
10/30	「hi-ho 光 with フレッツ 冬の特典キャンペーン」を実施
10/31	IIJ、「SMF-LAN」に関する特許権を取得
11/14	サン、IIJ、ベリングポイントなどが「地底空間トラステッド・エコ・データセンター・プロジェクト」を発足
11/15	IIJとアドビ システムズ社、Flash Videoによるストリーミング配信ソリューションで提携
11/29	IIJグループ、「心斎橋データセンター」を開設
12/3	「IIJイノベーションインスティテュート」事業開始について
12/10	ネットケア、「緊急地震速報受信支援パッケージ」を開始
12/17	IIJとドコモが法人データ通信市場におけるMVNOとしてのサービス開始に向け基本合意
12/20	情報セキュリティ対策の啓発強化に向けた活動「みんなで『情報セキュリティ』強化宣言！ 2008」を実施
12/26	IIJ、IIJ SMF sxサービスに「ウルトラファイアウォールオプション」を新たに追加
1/4	平成20年 年頭挨拶
1/21	IIJ、MVNOとして法人向けに「IIJモバイル」を提供開始
1/23	hi-ho法人向けサービス事業の一部譲渡に関するお知らせ
1/24	【hi-ho Web限定】「hi-ho 光 with フレッツ 特典キャンペーン」を実施
2/6	IIJとイー・モバイルがMVNOでのサービス開始に合意

(参考)2008年3月期 第3四半期実績(3ヶ月間)

	売上比 3Q07 (2007/10~12)	売上比 3Q06 (2006/10~12)	前年同 四半期比
営業収益 (売上高)	183.6	135.9	35.1%
売上原価	80.9% 148.5	79.0% 107.3	38.4%
売上総利益	19.1% 35.1	21.0% 28.6	22.7%
販売管理費等	12.9% 23.7	13.8% 18.7	26.6%
営業利益	6.2% 11.4	7.3% 9.9	15.2%
税引前 第3四半期利益	5.5% 10.2	11.8% 16.0	△36.5%
第3四半期純利益	3.3% 6.1	10.3% 14.0	△56.5%

(参考) ~インターネット接続及び付加価値サービス~

<旧サービス区分での内訳>

